

スマイル通信

2020年 新春号

Sato-Kazuko Smile report

〒982-0804 仙台市太白区鉤取2丁目1-3 TEL&FAX 022-245-7245 E-mail:sato@sendai-komei.jp URL http://www.sato-kazuko.net



あなたの未来に笑顔と元気を！

一人の声を大切に！ 100万人の笑顔のために！

令和の幕が開き、いよいよ歴史的な東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて日に日に期待が高まっております。

この度、議員活動等のご報告として「さとう和子スマイル通信 2020 新春号」を作成いたしました。ご一読いただければ幸いです。

本年は東日本大震災から10年目に入り、昨年の台風19号の復旧・復興、さらなる防災・減災の取り組みをはじめ、地域の課題解決のために全力で働いてまいります。

2020年1月吉日 仙台市議会議員 さとう和子

母親が安心して子育てができる産後ケアを目指して！

12月26日、公明党宮城県本部主催の「産後ケア研修会」に参加しました。一般社団法人ドゥーラ協会代表理事であり、東京都中野区の松が丘助産院院長の宗祥子氏の講演を中心に、同協会理事、現在、ドゥーラとしてご活躍の梁川妙子元中野区議会議員、仙台市の産後ケア事業所として委託されているとも子助産院院長の伊藤朋子氏、仙台市在住のドゥーラの方々から、現場の状況や課題を伺いました。



仙台市は、昨年1月から産後ケア事業が開始されましたが、利用者が少ないことや利用要件などの課題があり、一般社団法人ドゥーラ協会の視察（9月28日・東京都中野区）とも子助産院の視察（12月4日・泉区）など調査を重ねております。利用者に寄り添った訪問型の導入、利用しやすい産後ケアの充実を目指して議会質問等で粘り強く取り組んでまいります。

*産後ドゥーラ：産後間もない母親に寄り添い、家事や育児などを支援する人。

令和2年度仙台市予算及び 制度改正に係る要望書を提出



11月19日、公明党仙台市議団は郡仙台市長に提出。今回は、①復興の推進②防災・減災対策の推進③いじめ・虐待防止対策の推進を最重点要望とし、重点要望は11分野にわたり、市政発展への更なる事業展開を求め要望しました。

法律や心理などの専門家を 中心にいじめ相談支援 窓口設置の実現へ！

公明党仙台市議団は、平成29年に兵庫県川西市の全国初の取り組みである「子どもの人権オンブズパーソン制度」について視察し、子どもの視点を重視した、いじめ相談窓口となる公的第三者機関の早急な設置を議会等で求めておりました。粘り強い取り組みが実り令和元年第4回定例会において、一般会計補正予算に計上され、新年度の設置に向けて準備が進められております。

視察・活動



東京都荒川区の先進的な「聴覚障害者向け窓口トータル支援システム」導入と2018年に制定された「手話言語条例」等について視察。窓口支援は、タブレットを配置し、テレビ電話による遠隔手話通訳、音声認識システム、筆談の3つの機能がある。画期的な取り組みとして電話リレーサービスは、窓口サービスにとどまらず生活上のできる限りの相談に対応するため、事前に登録すれば、パソコンやスマートフォン等から様々な用途に使用でき、運用時間も午前8時から午後9時までとなっていることである。令和元年第4回定例会で荒川区の先進事例を通し、様々な要望に対応できるような情報支援を求めました。

(11月28日)



■ 鈎取紙漉町内会（地元）の防災訓練参加 (10月19日)

■ フリースクール東京シューレ理事長 奥地圭子氏の講演による「不登校 子どもの気持ちから考える」不登校講演会参加 (10月27日・泉区)



段ボールベッド組み立て訓練の様子

■ 群馬県渋川市・高崎市を視察

- ①全都道府県の消防が視察に訪れた渋川広域消防本部の延焼を食い止める独自開発の消化方法「渋川式」
- ②日高デイトレセンターのICTを活用したリハビリ・介護予防で要介護度の改善の取り組み、「高崎サウンド創造活動」「住環境整備」

(10月31日～11月1日)



■ 「性的マイノリティへの早期支援策」「いばらきパートナーシップ宣誓制度」の視察

(茨城県庁・11月29日)

■ 仙台市中央卸売市場 業務開始式参加

(1月5日)

■ 仙台市消防出初式参加

(1月7日・仙台市役所・市民広場)

皆さまの声をカタチにしました！



秋保ビジターセンターのひろびろトイレにおむつ交換台が設置となりました。
引き続き、トイレ改善について取り組んでまいります。

(令和元年第3回定例会一般質問)



毎週(水)長町モール前(金)茂庭交差点で朝のご挨拶を行っています。



1月10日
茂庭交差点にて